

事業名	環境保全型農業直接支払交付金事業
-----	------------------

総事業費	155 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	産地づくり（流通加工販売体制の整備）

② 実施 (Do)

事業の意図		環境保全型農業の面積の拡大、取組者の増加
事業の実績 と 成果	取組内容	化学肥料・化学合成農薬を原則 5 割以上低減し、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動として、有機農業の取組を行った。
	成 果	有機農業の取組をさとうきび・青果用さつまいも等で行った。取組者 2 名取組面積は 1 2 9 ha の実績であった。本年度は、新型コロナウイルス関連の国補助金が別により、内容が重複していたため、申請ができず、昨年度より取組面積は減となった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	今後、有機農業を含めた環境にやさしい取組をする農業者が増えることが予想されるが、有機農業に特化した指導者がおらず、慣行栽培よりも収量等が低くなる分、付加価値をつけた販売を行わなければならないが、価格が合わない販売をしていることが多い。有機農業に取り組む農業者を的確に把握し、事業を活用してもらうよう広報する。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	環境にやさしい農業を行うと収量が減り、結果収入が減り農家が減っていく。今後、農産物の付加価値をつける販売システムを確立していかなければならない。さつまいも基腐病の感染拡大で農薬を使いづらい状況となり、次年度において感染源にならないか心配である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	特になし
-----------	------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	園芸品目増収省力化促進事業
-----	---------------

総事業費	260 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	産地づくり（流通加工販売体制の整備）

② 実施 (Do)

事業の意図		作業の省力化による面積拡大、収量増加
事業の実績 と 成果	取組内容	現地研修会にて、事業の広報を行い、計7名の事業実施者となった。
	成 果	スナップのあられ除け資材は2名、ブロッコリーの収穫用台車については6台助成を行った。 ブロッコリーについては、さつまいも基腐病の被害が拡大し、収益が落ちたことから、さつまいもの後作ということで、面積が大幅に拡大し、1人当たりの栽培面積も増えたため、事業が有効であった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	ブロッコリーの面積は今後も増えていくと予想され、1人当たりの面積も増加することから、作業の省力化のため収穫用台車の引き続きの要望があった。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	ブロッコリーは、さつまいも基腐病の被害拡大から、作付面積が大幅に拡大し、1人当たりの栽培面積も増えたため、労力軽減による作業効率が向上し、スナップは、寒害対策による商品性が向上し、結果、収益性が向上することから本事業は有効である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	特になし
-----------	------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	安納いも育苗資材支援事業
-----	--------------

総事業費	640 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	産地づくり（流通加工販売体制の整備）

② 実施 (Do)

事業の意図		安納いもの生産量拡大・栽培面積の維持・拡大
事業の実績 と 成果	取組内容	優良種苗の供給体制の確立のため、生産者自身が育苗を行うためのハウス・トンネル資材の設置を行った。
	成 果	優良種苗増殖のためのハウスが4棟、本ぽ型育苗のための資材については1名が事業を活用した。優良種苗を個人育苗することにより、生産量の安定、生産額の向上につながった。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	優良種苗供給体制の確立を進めていくために、今後も増殖用育苗ハウスの農家個人での導入を進めていかなければならない。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	ウイルスフリー苗増殖に係る施設設備経費の一部を助成し、優良種苗の生産・安定出荷・農家所得向上が図られ、今後も継続すべき事業である。ただ、苗床におけるさつまいも基腐病の感染が懸念されるので、衛生面の徹底をお願いしたい。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	ウイルスフリー苗増殖に係る施設設備経費の一部を助成し、優良種苗の生産・安定出荷を図る。また、早めに補助事務を行い、さつまいも基腐病対策と合わせた支援を行う。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	安納いもバイオ苗増殖運営事業
-----	----------------

総事業費	1,189 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	産地づくり（流通加工販売体制の整備）

② 実施 (Do)

事業の意図		安納いもの生産量拡大・栽培面積の維持・拡大。
事業の実績 と 成果	取組内容	西之表市農業振興公社に委託して優良種苗を供給を行った。
	成 果	優良種苗を低温等の天候の影響を受ける中で、農家の要望数の配布をすることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	さつまいも基腐病の影響もあり、優良種苗の安定した供給を行うための資材や人件費の負担増が見込まれることから、委託料の見直しを行う必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	安納芋のブランド化バイオ苗の安定増殖・供給は、本市ブランド化の為に必要である。今後も継続すべき事業である。徒長苗の発生率が高くなっており、苗の安定供給に影響が出るので、対策が喫緊である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	ウイルスフリー苗増殖に係る施設設備経費の一部を助成し、優良種苗の生産・安定出荷を図る。また、早めに補助事務を行い、さつまいも基腐病対策と合わせた支援を行う。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	地域ブランド推進事業
-----	------------

総事業費	4,340 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	産地づくり（流通加工販売体制の整備）

② 実施 (Do)

事業の意図		生産量拡大による地域ブランドの確立を行う。
事業の実績 と 成果	取組内容	新型コロナウイルス感染拡大の中、大消費地への販売促進活動ができないため、SNSを活用し、本市農業や農産物のイメージアップを図った。
	成 果	市内の農産物の安心・安全に対する取組（K-GAP）の取得数の増加に繋げることができた。また、大消費地への販売促進ができない中、新しい生活様式のイベントへの参加（県内）し、新しい販売促進活動の形を作ることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	新型コロナウイルス感染拡大の中、実際に農産物をPRする場が限られている現状でSNS等での発信は当然のことながら、料理店等への訪問PRなど今まで行っていない手法を取る必要性もある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	「種子島産安納いも」としての早期ブランド化に繋げるためにも必要であり、継続すべき事業である。GI取得までもうすぐである。さつまいも基腐病の拡大で、安納いもの存続自体が危ぶまれており、関係機関一体となってブランドを守っていただきたい。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	安納いも他産地との差別化を実現するためにも安納いもブランド推進本部において、「種子島産安納いも」としてのGI承認を目指す。また、県と連携し輸出に向けた産地づくりの取組みを実施する。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	農水産物輸送コスト支援事業
-----	---------------

総事業費	23,944 千円
------	-----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	産地づくり（流通加工販売体制の整備）

② 実施 (Do)

事業の意図	島外への農水産物の輸送量の増加を図る。	
事業の実績 と 成果	取組内容	協議会運営、補助金の申請書類作成の支援、関係機関（国・県等）への実績報告を行った。
	成 果	輸送費の支援を行い、農家の農業経費の低減を図った。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	特になし。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	本土で競争するにあたり、ネックになる海上輸送費を支援することで、農水産物の販売価格に輸送費が反映しにくくなり、消費拡大に繋がるので必要な事業である。2年度は、乳用牛を対象品目に追加したが、さつまいも基腐病の影響で、さつまいもの出荷が半分となり、事業実績が下がったが、今後も事業の拡充をしていただきたい。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	本市の農水産物を本土へ出荷及びその生産資材の移入にかかる輸送コストを軽減するために、海上輸送費の支援を行いつつ、対象品目の拡充を図る。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	種子島あかおぎ牛導入支援事業
-----	----------------

総事業費	7千円
------	-----

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	産地づくり（流通加工販売体制の整備）

② 実施 (Do)

事業の意図			優良繁殖雌牛の血統作りによる優良血統子牛の生産
事業の実績 と 成果	取組内容	新型コロナウイルス感染予防の観点から、優良精液確保のための種雄牛管理者訪問等は中止とした。 あかおぎ牛の貸付を行った。	
	成 果	あかおぎ牛貸付抽選会において、10頭の貸付をおこない、農家の経営安定に繋げた。	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	あかおぎ牛産子の返納率の向上が課題である。定期的な巡回指導を行い、返納牛を増やせるように努める。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	和牛農家の収益の安定のためにも優良血統による繁殖基盤の確立は、必要であるが、協議会の運営と返納牛を金銭で返す確率が増えており、農家の負担が増えてきているのが心配である。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	特になし
-----------	------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	各種伝染病発生予防事業
-----	-------------

総事業費	933 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	産地づくり（流通加工販売体制の整備）

② 実施 (Do)

事業の意図	子牛死亡件数の減少	
事業の実績 と 成果	取組内容	子牛の死因割合の高い呼吸器系や消化器系の予防、本市で発生事例のあるボツリヌス症予防のためにワクチン接種を行い薬価代の助成をした。
	成 果	子牛価格の高騰もあって疾病予防の意識が高まり、接種頭数は増加した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	ボツリヌスワクチンに関しては、和牛・乳牛と接種頭数が増加したが、ボツリヌス症の発症から年月が過ぎると接種頭数が減少する傾向がある。 ボツリヌス症への対策としては、現在のところワクチン接種しかないため、今後も継続して農家に周知を行い、接種頭数の維持・増加に努める。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	家畜伝染病を予防することにより治療費削減や死廃頭数の削減につながり、今後も継続していく必要がある。接種頭数に波があるので、伝染病予防に対する農家の意識を高めるために、情報提供を徹底していただきたい。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	子牛の死亡頭数の増加と種子島全体の飼養頭数の減少は、子牛セリ市への出場頭数の減少につながるものであり、最も懸念される影響として、セリ市の開催回数の減少や購買者数の減少など、種子島の畜産業及び地域経済に及ぼす影響は甚大なものである。 主な死亡要因は、消化器系と呼吸器系による死亡であり、農家個々の自衛防疫意識の啓発向上を図り、該当疾病の予防をおこなう
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	畜産経営総合支援事業（自給飼料対策）
-----	--------------------

総事業費	164 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	産地づくり（流通加工販売体制の整備）

② 実施 (Do)

事業の意図		飼料代の軽減に向けて行う。
事業の実績 と 成果	取組内容	飼料用米サイレージの作成・栄養分析等に係る一部助成を行った。
	成 果	栄養分析結果としては、特に問題は無かった。作成に関しては、収穫時期等を確認しながら、連携して取り組むことができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	飼料用米の収穫時期に合わせてサイレージ作成の日程を決めるが、農家によって収穫の時期が違ったり、天候等により予定通り収穫できない場合がある。 そういったことから、需要に応じた供給ができなくなることもあるのが懸念である。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	飼料高騰の為、畜産農家の負担軽減を図るために必要である。現在、生産者と利用者のバランスが崩れており、需要過多となっている。遊休農地対策も兼ねており、飼料用米の情報を畜産農家に提供し、飼料用米の利用者を増やしていかなければならない。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	・ 自給粗飼料確保に関する取組 ・ 家畜ふん尿の適正処理に関する取組
-----------	---------------------------------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	畜産経営総合支援事業（後継者対策）
-----	-------------------

総事業費	900 千円
------	-------------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	産地づくり（流通加工販売体制の整備）

② 実施（Do）

事業の意図			新規就農者の初期投資の負担を抑え、経営の安定を図る。
事業の実績 と 成果	取組内容	農家4名に対して、牛舎周囲舗装・繁殖雌牛3頭及び養鶏雛2000羽の導入支援を行った。	
	成 果	本事業の活用により、初期投資の軽減を図ることができた。	

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	増頭・増羽により、飼養設備に空きが無くなってきているが、新設や増設には莫大な金額がかかるため中々投資できないのが現状である。 牛舎及び鶏舎に対する助成金額の拡大が求められる。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	畜産新規就農者の家畜導入費及び機械導入等を支援して、安定した経営が行えるようにするために、今後も継続していただきたい。新規就農者への情報提供を徹底していただきたい。

④ 改善（Action）

2021年度方向性	・後継者や新規就農者への支援
-----------	----------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	食農教育・地産地消推進事業
-----	---------------

総事業費	17 千円
------	-------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	農業の振興
	基本事業名	産地づくり（流通加工販売体制の整備）

② 実施 (Do)

事業の意図	生産者は地産地消により取引拡大と販売額の向上、消費者・小中学生は食育及び地産地消の関心を高める。	
事業の実績 と 成果	取組内容	市食育・地産地消推進計画（第二次）の策定を完了した。 市地産地消推進協議会の各団体は新型コロナウイルスの影響により活動が思うようにいかない団体も見られた。
	成 果	市地産地消推進協議会総会の開催を計画していたが、各団体とも新型コロナウイルスの影響により思うように活動がいかず、また、活動できている団体も例年同様の内容であったことから、書面による通知とした。、関係機関の食育・地産地消への取り組みを確認することができた。給食を通じて地産地消の取り組みを行い、市内小中学校において、給食センターの栄養教諭による食育の授業を行い、小中学生に食について考える機会を与えることができた。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	市場における島内産量とその割合が減少してきており、青空市場等へ島内産が流れている状況にある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	西之表市食育地産地消推進計画（第2次）を策定した。関係機関は、コロナウイルスの影響でそれぞれ小規模で活動を行っている。関係機関の連携を密にして、食育・地産地消を推進していただきたい。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	コロナウイルスの影響により、思うように活動が実施できていないが西之表市食育地産地消推進計画（第2次）の周知を進めていく。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明